



役目終え生活道路に転用

③ 両側のがつしりとしたコンクリート壁が、水路であったことを想像させる。橋長は143㍍。「西天竜幹線水路」の農業用水を深沢川(箕輪町)の谷を越えて供給するために1927年に造られた。水路橋として活用されたのはサイホンが導入されるまでの約11年間。役目を終えた後も壊

③ 旧深沢川水路橋 箕輪町

伊那谷遺産 第1部

されず、地元の強い要望もあって町道に転用された。同町の松島と八乙女をつなぐ橋は生活道路で、中学生の通学路にもなっているという。「古い橋だけど、便利なので、もう少し頑張ってもらわないとね」と住民ら。水を張った水田に橋脚が映り込んで見える5月



中旬、見通しが良い橋上で耳を澄ますと、東からは高速道路を走る車の音、西からは田植え機の音が聞こえてきた。

毎週火曜日掲載

「子どもの頃は怖いとも思わなくて、水路の端を歩いて向こうまで渡ったものです」。八乙女で生まれ育ったという女性(80)が懐かしそうに話した。

(文・倉田高志、絵・片桐美登)



QRコードから
天上事務所HPへ